

人流ビッグデータによる実態分析結果（まとめ）

目的	① 都市計画マスタープラン：都市構造の拠点（中心拠点や市街地連携拠点等）の見直し ② 立地適正化計画：都市機能誘導施設の候補となる施設の抽出		
	1. 人流ビッグデータ ⇒P3～5	2. アンケート結果 ⇒P6～9	3. 人流と生活利便地域の比較 ⇒P10
分析目的	市民の利用が多い(※)とみられる施設を確認し、 <u>都市機能誘導施設の候補を把握する</u> 。※以後は「人流密集度が高い」と表記する。	昨年のアンケート「質問8：日常の主な行き先」を地区毎に再整理し、 <u>人流ビッグデータの分析結果を補足検証する</u> 。	「人流密集度」や「各施設の半径 800m圏域の重なり」から、 <u>現行都市計画マスタープランの「都市構造の拠点」について、施設の立地状況や利用状況を把握し、今後の見直しに反映させる</u> 。
分析結果	【商業施設】 ・スーパーマーケットのうち大規模小売店舗の主要5店舗の人流密集度が高い。 ・ <u>北御牧地区には人流密集度の高い施設がない</u> 。 【医療機関】 ・東御市民病院がメイン。 【その他】 ・平日：田中駅から市役所付近の人流密集度が高い。 ・休日：文化会館等の人流密集度が高い。	【商業施設】 ・食品の買い物は主要5店舗の利用がメインであり、特に <u>居住地区内の店舗を利用する人が多い</u> 。ただし、 <u>北御牧地区は約半数が市外を利用している</u> 。（丸子、望月、立科など） ・ <u>食品以外の買物は市外の商業施設が多い</u> 。 【医療機関】 ・東御市民病院の回答が多い。 <u>高度医療を受ける場合など市外の利用も見受けられる</u> 。 【金融機関】 ・八十二銀行田中支店の回答が多い。	【田中地区】 ・本海野の「地域拠点」では人流のある商業施設があるものの公共施設等はない。 ・国道 18 号バイパス結節予定の「準交流拠点」では、人流・施設ともに集約がみられない。 【柵津地区・和地区】 ・ <u>公共施設が集まる小学校付近と、人流密集度が高いスーパーなどの商業施設が離れている</u> 。 ・新張の「地域拠点」では公共施設がなく、人流密集度も低い。 【北御牧地区】 ・従来の市街地連携拠点や地域拠点への人流密集度が低く、生活を支える <u>施設としての機能性が低い</u> と考えられる。 ・従来の地域拠点である御牧原(旧御牧原保育園付近)には、 <u>施設がない</u> 。
今後の課題	・上記分析を踏まえて、現状は市内に立地している施設が限定的であり、近隣都市に立地する施設も多く利用されていることが浮き彫りとなった。今後は <u>一定の人口密度を保持しながら、既存施設の流出を抑制していくことが課題</u> となる。 ・また、本市の施設だけで充足できていない部分は、近隣都市の施設を利用した連携強化に努め、機能補完を行う。		・各地区の地域拠点をどこに設定していくかが課題となる。 ・行政機能を持たない <u>北御牧庁舎周辺の取り扱いが課題</u> となる。 ※現行計画では市街地連携拠点に位置付けられており、中心拠点(田中地区)の行政機能を分担することになっている。

0. 人流ビッグデータについて

【人口流動ビッグデータの概要】

使用データ	Agoop ポイント型流動人口データ 複数のスマートフォンアプリから収集した位置情報等のデータ
データの期間	2024 年 10 月 1 日から 10 月 31 日
データの曜日区分	平日（月～金曜日）・休日（土・日曜日、祝日）

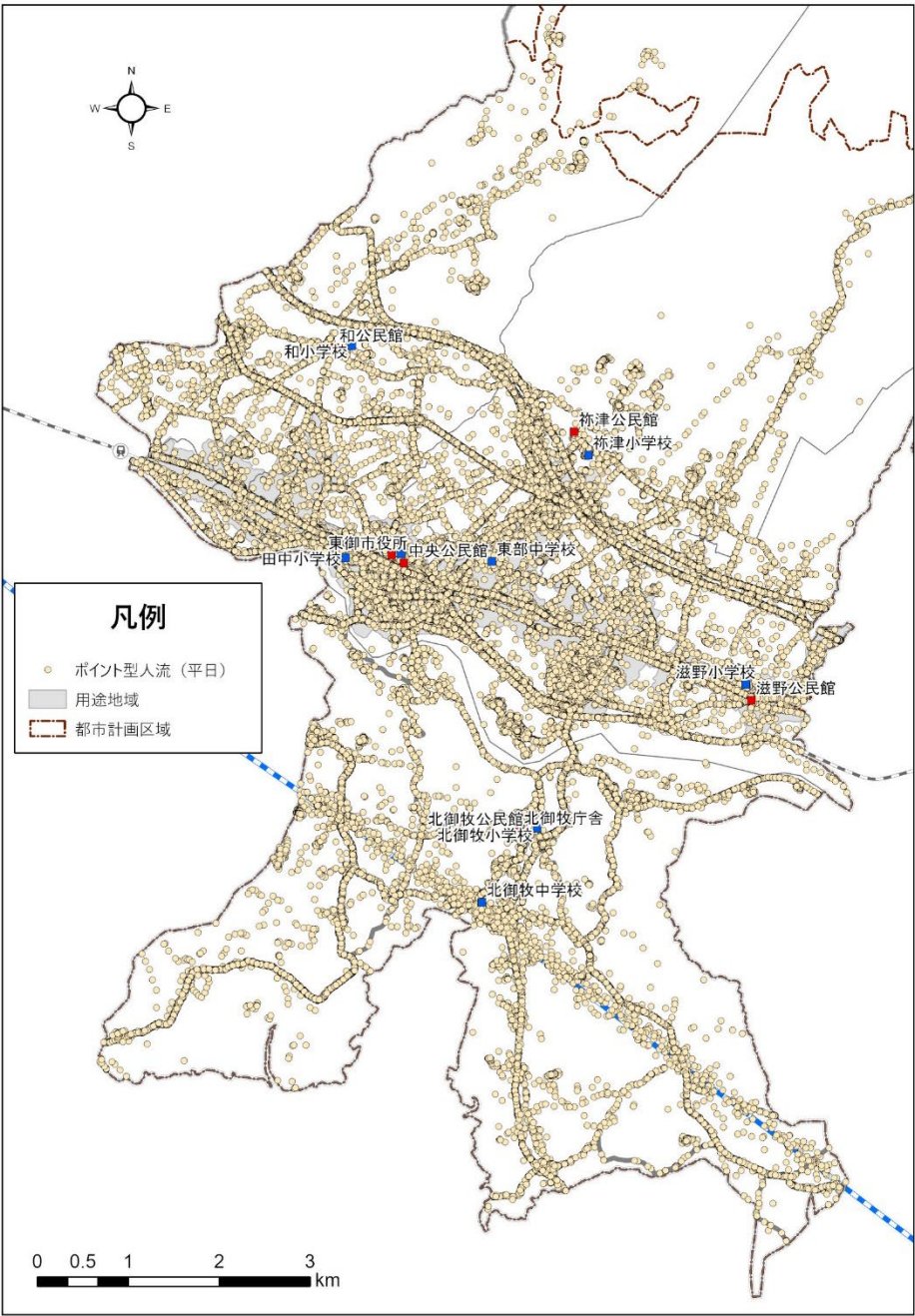


図. ポイント型流動人口の分布例

資料：「Agoop ポイント型流動人口データ」を編集加工した

【人口流動ビッグデータの確認方法】

- ① 市内の人口流動を線（青色または黒色）で示しています。
線の色が濃い＝人口流動が多い ⇔ 線の色が薄い＝人口流動が少ない
- ② 人流密集度（ヒートマップ）では、人出の混雑状況や人の集まり具合を色の濃淡で図示し、どのエリアに多くの人が集まっているかを示しています。
人が特に多く集まっている場所を **黄色**、それなりに多くの人が集まっている場所を **赤色** で表しています。

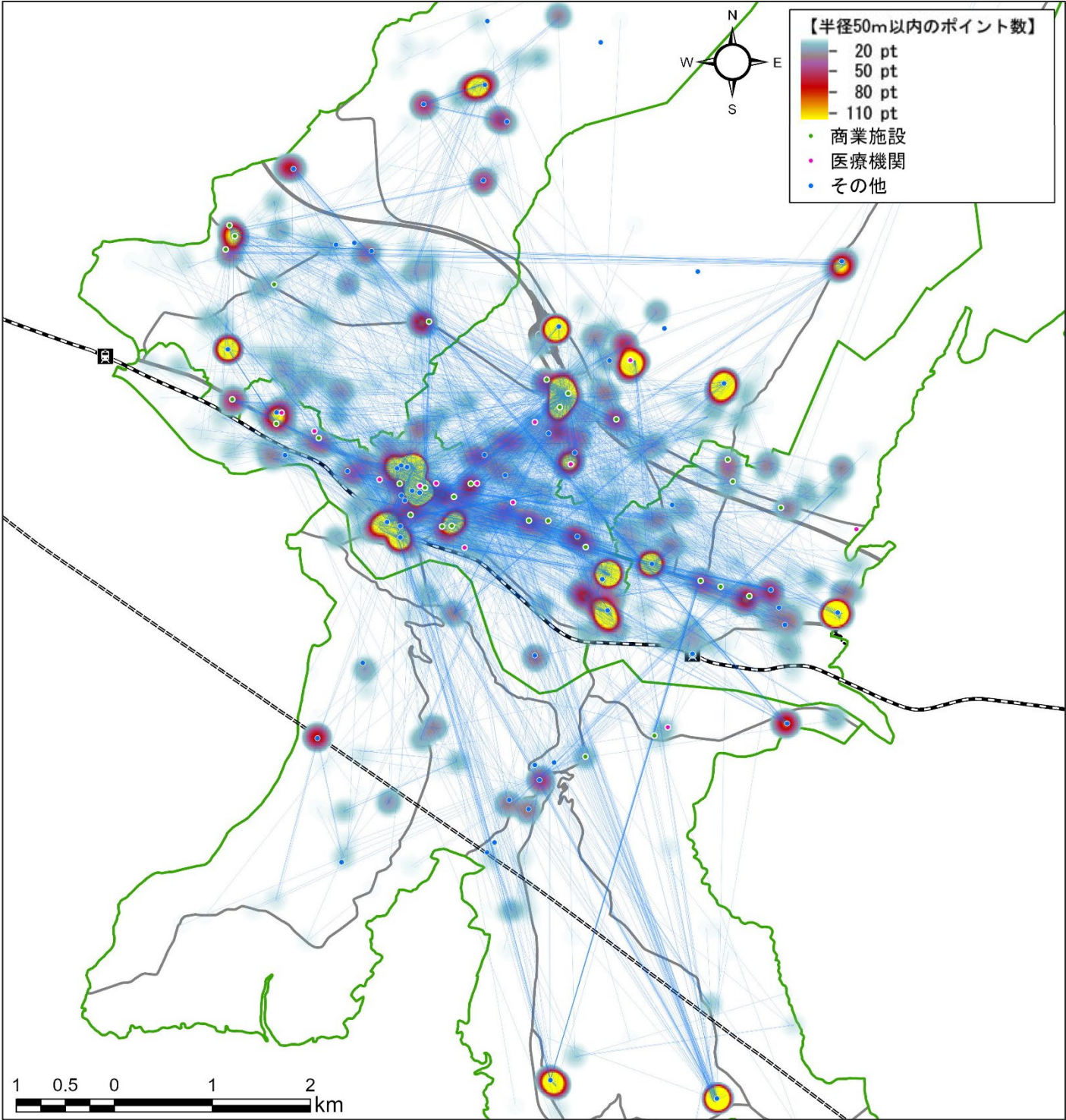


図. 人口流動参考図

【商業施設】

■道の駅雷電くるみの里では平日の利用は少なく（店舗名：粋なし）、休日の利用が多く（店舗名：赤粋）なっています。

【半径50m以内のポイント数】

- 20 pt
- 50 pt
- 80 pt
- 110 pt

1 0.5 0 1 2 km

W S E

施設名

- 人流密集度が特に高い施設（ヒートマップ：黄色）
- 人流密集度がそれなりに高い施設（ヒートマップ：赤色）

アンケート調査結果

地区	人口 (n)	割合 (%)
市全体	1078	100%
田中地区	302	27.9%
滋野地区	186	17.3%
祐津地区	168	15.6%
和地区	235	21.8%
北御牧地区	178	16.5%

【半径50m以内のポイント数】

- 20 pt
- 50 pt
- 80 pt
- 110 pt

1 0.5 0 1 2 km

《施設名》

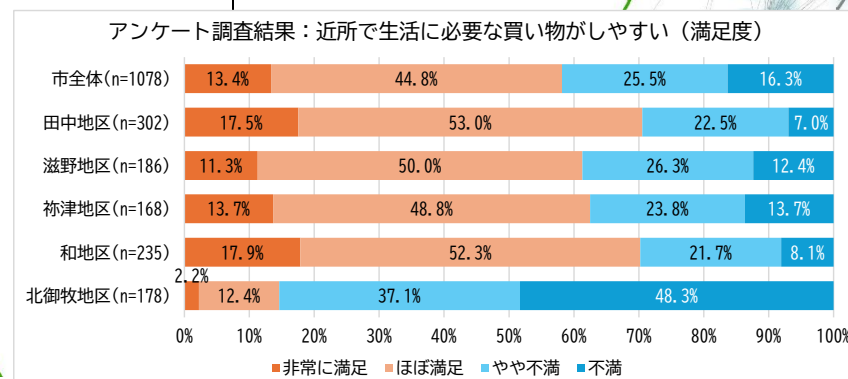
- 人流密集度が特に高い施設（ヒートマップ：黄色）
- 人流密集度がそれなりに高い施設（ヒートマップ：赤色）

アンケート調査結果：近所で生活に必要な買い物がしやすい（満足度）

地域	非常に満足	ほぼ満足	やや不満	不満
市全体 (n=1078)	13.4%	44.8%	25.5%	16.3%
田中地区 (n=302)	17.5%	53.0%	22.5%	7.0%
滋野地区 (n=186)	11.3%	50.0%	26.3%	12.4%
称津地区 (n=168)	13.7%	48.8%	23.8%	13.7%
和地区 (n=235)	17.9%	52.3%	21.7%	8.1%
北御牧地区 (n=178)	12.4%	37.1%	48.3%	2.2%

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

非常に満足 ほぼ満足 やや不満 不満

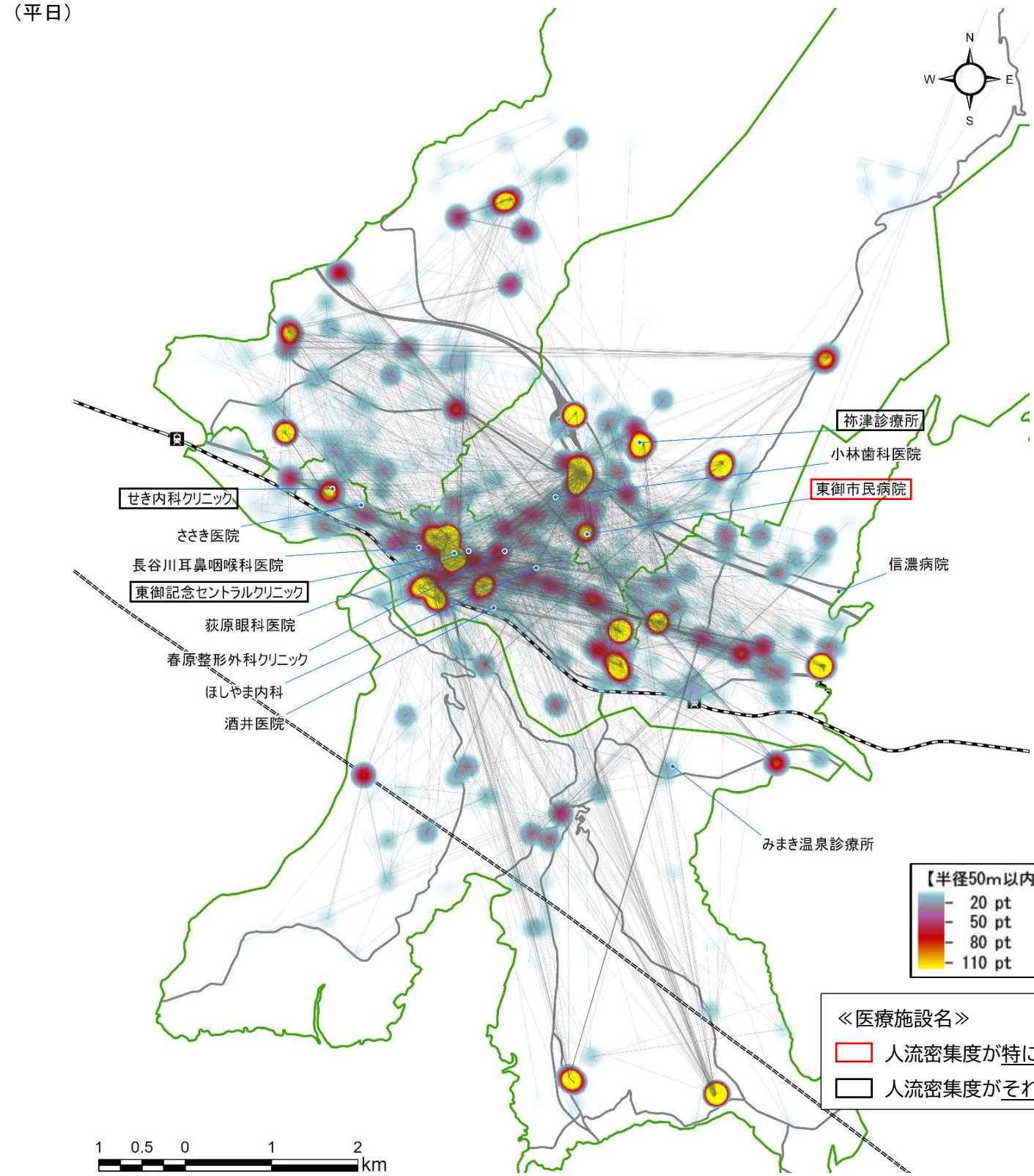


【医療機関】

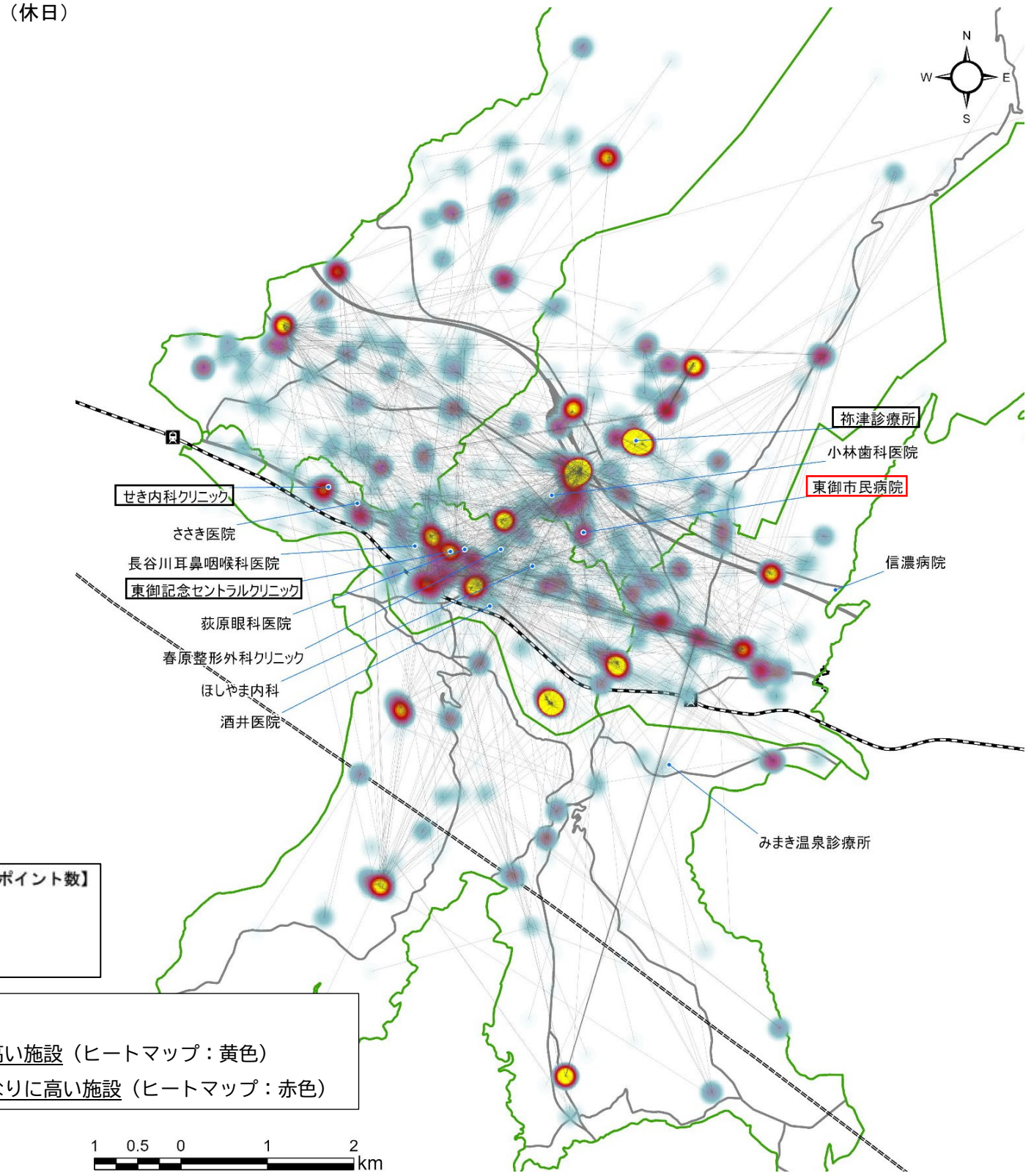
- 医療機関の分布では、東御市民病院や祢津診療所、東御記念セントラルクリニック、せき内科クリニックにて人流密集度が高くなっています。
- 地区別にみると、人流密集度が高い医療機関は田中地区や祢津地区に集中しており、滋野地区や北御牧地区では利用が少なく、和地区では医療機関がみられない結果となっています。

- 休日は、土曜診療や当番医など対応が限定となることから、全般的に利用が少なくなっています。
- 東御市民病院、東御記念セントラルクリニック、せき内科クリニック等で利用がみられます。
- 令和6年9月のアンケート調査においても、市内の医療機関を利用すると回答した人の約半数が、東御市民病院を具体的な行き先としてあげており、人流密集度の分布とも一致します。一方で、その他の医療機関は、東御市民病院と比較して利用が少ないという結果になっています。（※6ページ参照）

（平日）



（休日）



【その他施設】

【公共施設・文教施設・公園等】

《平日》 東御市役所周辺、東御清翔高校、田中駅、田中保育園、長野救命医療専門学校

《休日》 東御市文化会館サンテラスホール、東御中央公園、芸術むら公園

《地区別比較》人流密集度が高い施設は、田中地区に集中しています。

【金融機関等】

・田中地区では、八十二銀行やＪＡ信州うえだ東御支所、東御郵便局の人流密集度が高くなっています。

・北御牧地区では、北御牧郵便局の人流密集度が若干高くなっています。

【産業施設等】

・市内の企業や工場、物流倉庫、農場などで人流密集度が高くなっています。

また、人流密集度が高い施設は田中地区が多く、他の地区では農作業による人流がみられます。

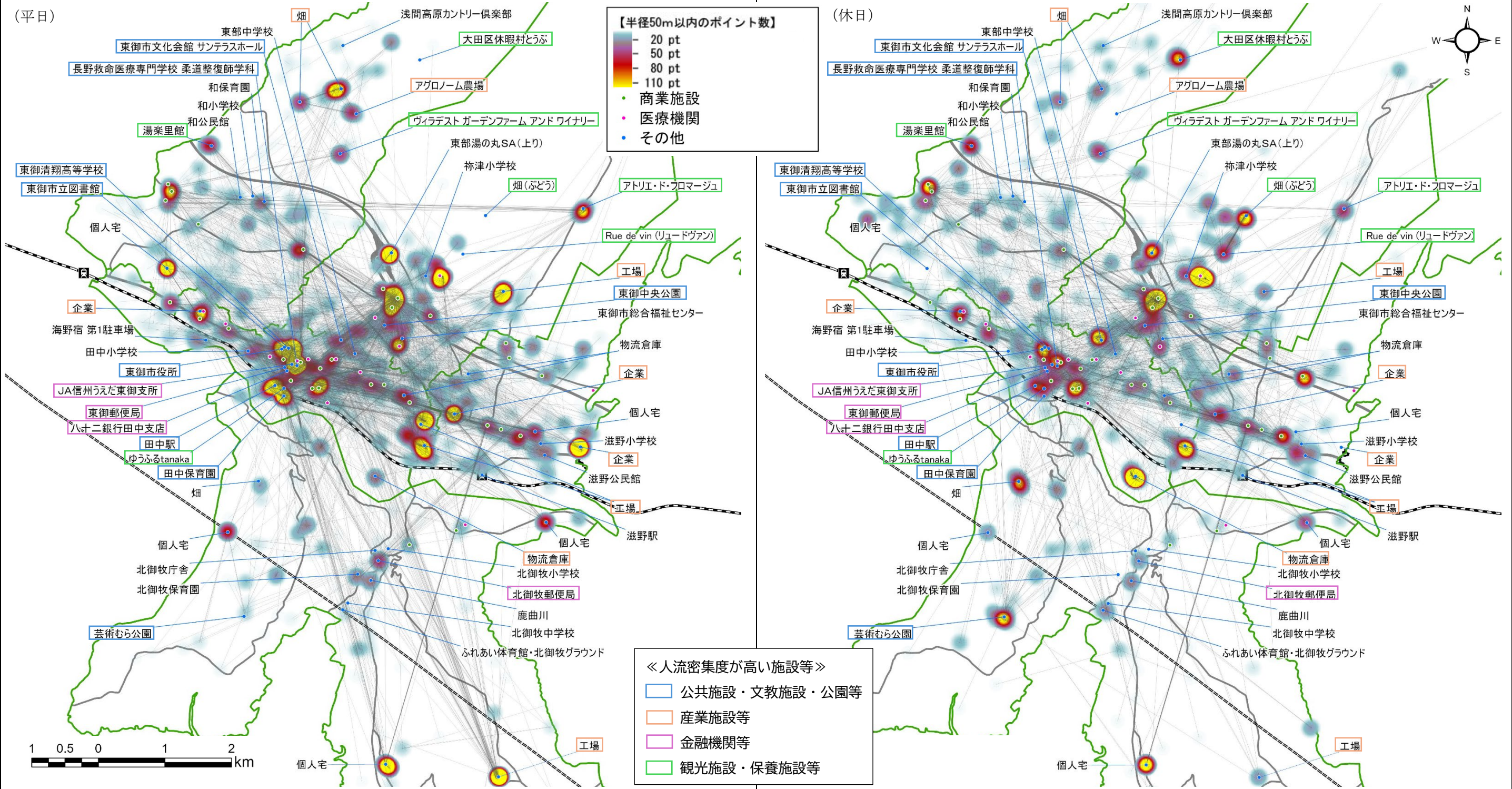
《各地区の産業施設等》 [田中地区] 企業（事業所）・物流倉庫・工場 [滋野地区] 企業（事業所）

[祢津地区] 工場 [和地区] 農場 [北御牧地区] 工場、農場

【観光施設、保養施設等】

・温泉施設（湯楽里館、ゆうふる tanaka）では曜日を問わず、人流密集度高めとなっています。

・ワイナリーや大田区休暇村とうぶ では休日を中心として人流密集度が高くなっています。



2. アンケート結果（令和6年9月実施）

【買物（食品）】

■地区別の利用結果は次のとおりです。

【田中地区】 ツルヤが最も多く、ベイシア、やおふく、デリシアも利用されています。

【滋野地区】 地区内のナナーズが最も多く、次いでツルヤやデリシアの順となっています。

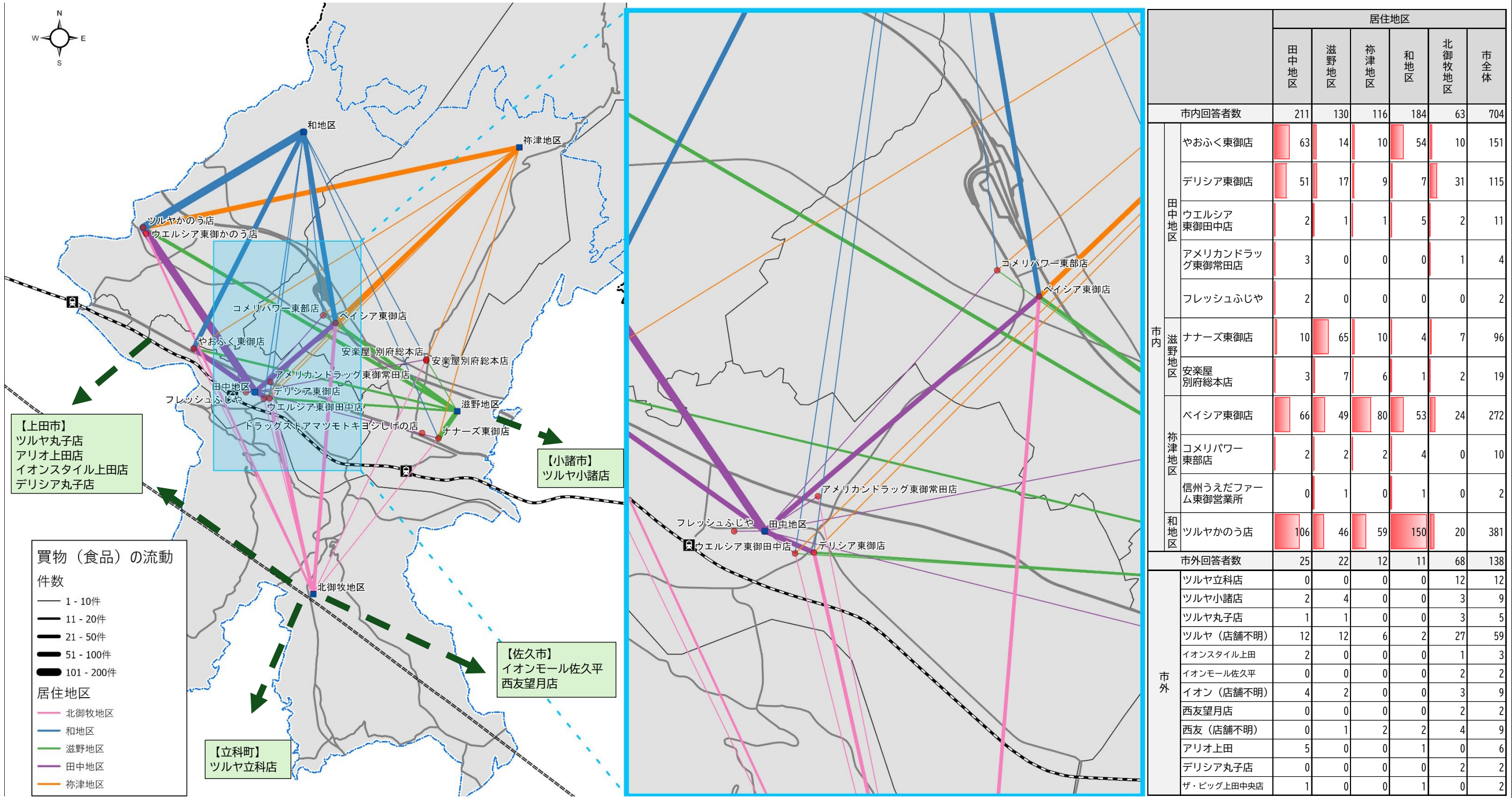
【柵津地区】 地区内のベイシアが最も多く、次いでツルヤとなっています。

【和地区】 地区内のツルヤが最も多く、次いでやおふくやベイシアの順となっています。

【北御牧地区】 デリシア、ベイシア、ツルヤなどに利用が分散しています。

■市全体としては、ツルヤ（居住地区：和地区、田中地区）、ベイシア（居住地区：柵津地区）、やおふく、デリシア、ナナーズの順となっています。

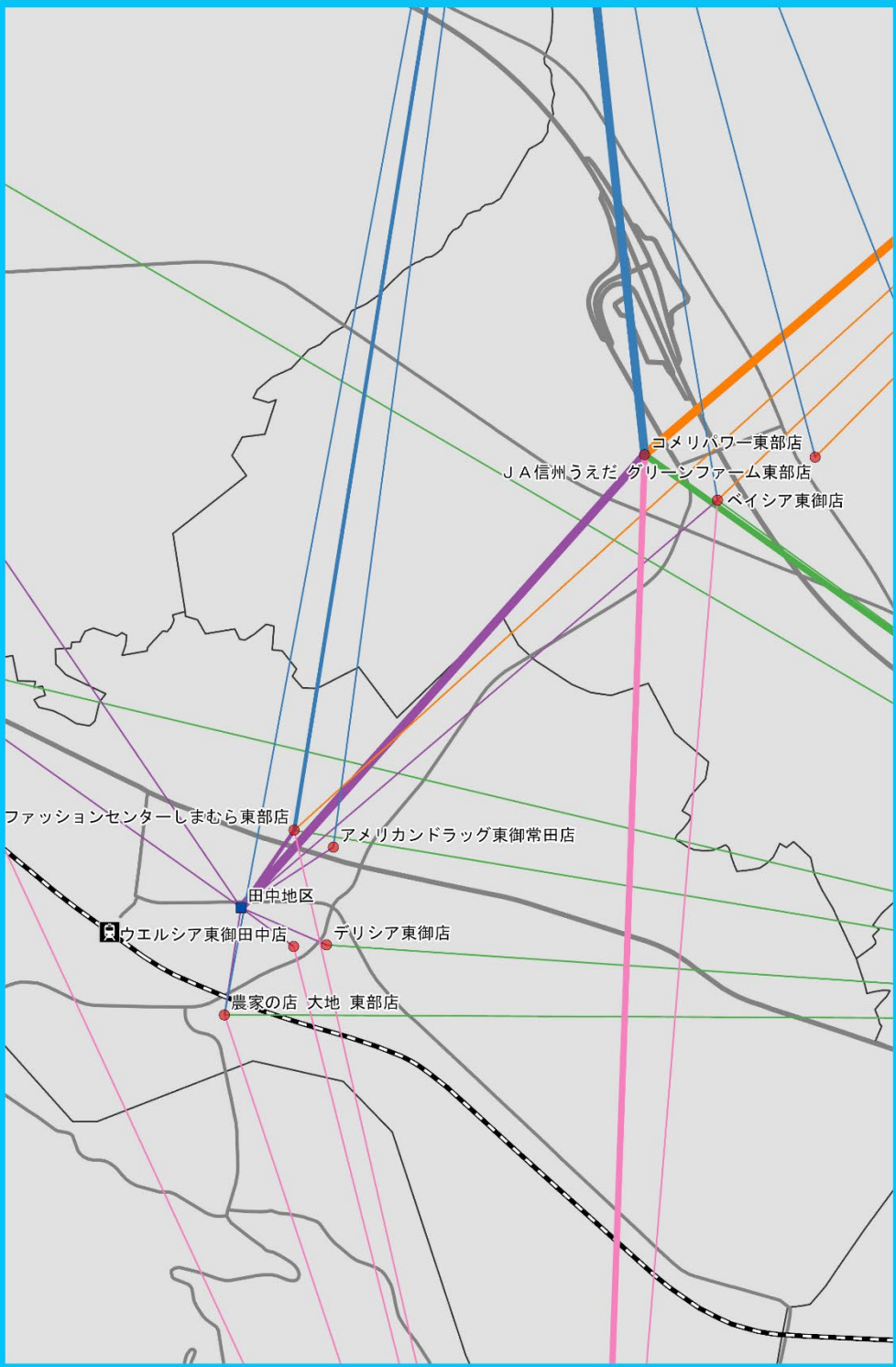
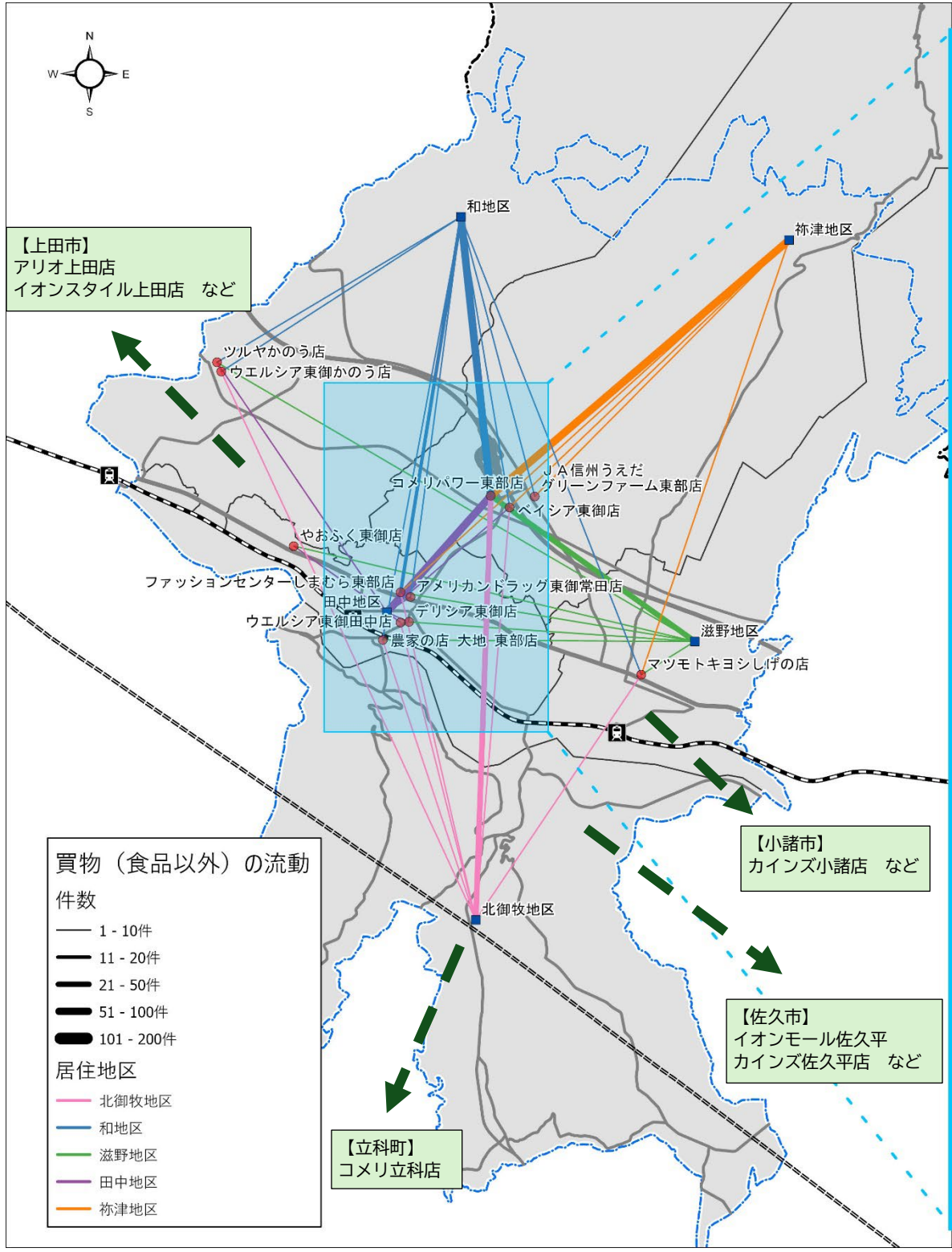
■北御牧地区では回答者の約半数が市外の店舗（ツルヤ立科店等）が利用されています。



【買物（食品以外）】

- 食品以外の買物利用では、全ての地区においてコメリパワー東部店が最も多くなっています。
- 回答者の約半数以上が市外の店舗を利用しており、カインズホームやイオン、アリオ上田などが多くなっています。

■食品以外の施設は、主に田中地区や祢津地区にあり、他の地区では集客性の高い施設はみられません。



		居住地区						
		田中地区	滋野地区	祢津地区	和地区	北御牧地区	市全体	
市内回答者数		107	56	66	97	38	364	
市内	田中地区	しまむら東部店	18	9	6	14	6	53
		農家の店 大地東部店	1	1	0	3	3	8
		アメリカンドラッグ東御常田店	4	0	0	2	0	6
		デリシア東御店	1	1	0	0	0	2
		やおふく東御店	1	1	0	0	0	2
		ウエルシア東御田中店	1	0	0	0	0	1
	滋野地区	マツモトキヨシしげの店	0	2	1	1	2	6
		コメリパワー東部店	87	40	59	85	31	302
	祢津地区	ベイシア東御店	4	2	4	3	1	14
		JA信州うえだグリーンファーム東部店	0	0	1	1	0	2
	和地区	ツルヤかのう店	1	1	0	2	1	5
		ウエルシア東御かのう店	0	0	0	3	0	3
	市外回答者数		125	88	54	90	89	446
市外	アリオ上田	35	15	11	28	11	100	
	カインズ小諸店	8	6	2	2	4	22	
	カインズ上田店	1	0	1	1	0	3	
	カインズ（※）	43	52	20	25	27	167	
	イオンスタイル上田	8	1	1	5	4	19	
	イオンモール佐久平	1	3	0	2	4	10	
	イオン（※）	36	14	17	21	16	104	
	カインズ佐久平店	2	2	1	0	1	6	
	コメリ立科店	0	0	0	0	5	5	
	ヤマダデンキ（※）	12	7	5	7	5	36	
	ユニクロ（※）	13	6	5	5	4	33	
	ケーズデンキ（※）	13	3	1	4	5	26	
	コメリ（※）	3	2	2	1	11	19	
カワチ薬品（※）	4	4	3	1	4	16		

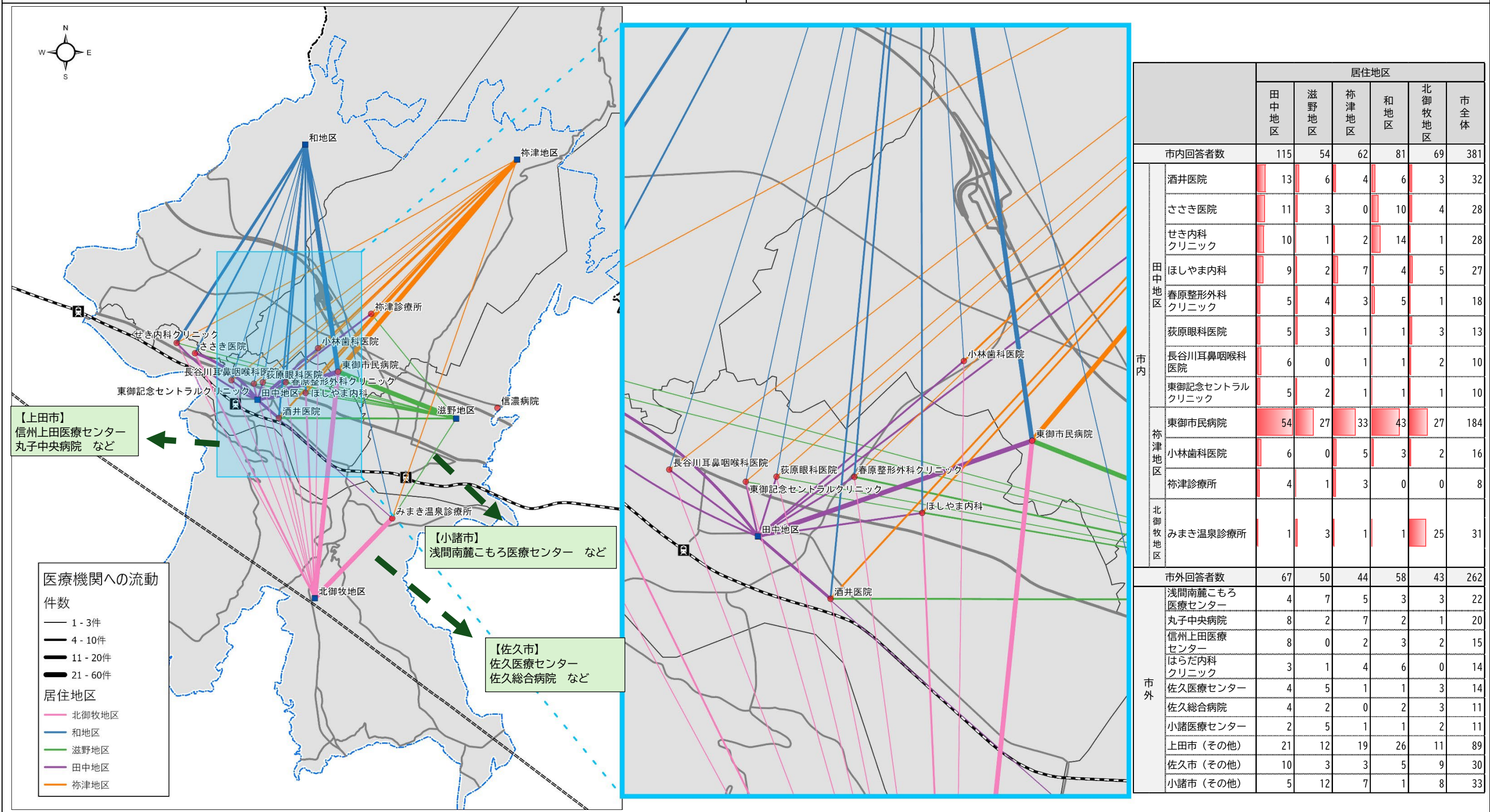
※店舗不明

【医療機関】

■医療機関では、全ての地区において東御市民病院の利用が多くなっていますが、北御牧地区ではみまき温泉診療所も利用が多くなっています。

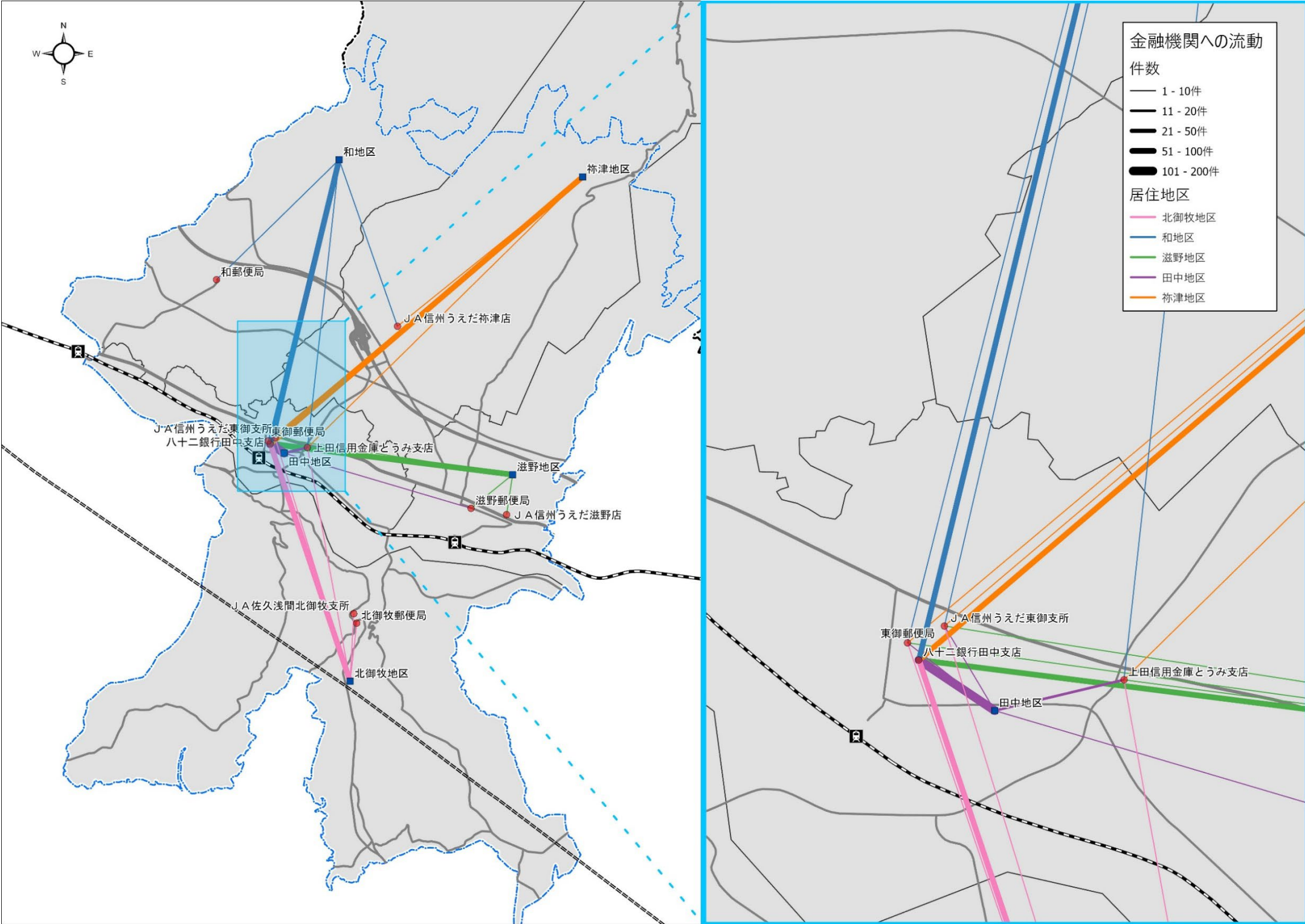
■滋野、和地区では診療所が無く、田中地区、祢津地区の施設を利用しています。

■市外の利用状況では、上田市、小諸市、佐久市の医療施設の利用が多くみられます。



【金融機関】

- すべての地区において八十二銀行田中支店の回答が多くなっています。
- 市外の金融機関の利用については、各地区の差はあまり見られません。



		居住地区					
		田中地区	滋野地区	祢津地区	和田地区	北御牧地区	市全体
市内回答者数		185	117	102	143	102	649
田中地区	八十二銀行田中支店	146	75	59	88	55	423
	上田信用金庫とうみ支店	17	7	3	6	5	38
	J A信州うえだ東御支所	5	1	2	5	1	14
	東御郵便局	6	2	1	1	4	14
	滋野郵便局	1	1	0	0	0	2
北御牧地区	J A信州うえだ滋野店	0	1	0	0	0	1
	J A信州うえだ祢津店	0	0	1	1	0	2
	和郵便局	0	0	0	4	0	4
地区不明	J A佐久浅間北御牧支所	0	0	0	0	6	6
	北御牧郵便局	0	0	0	0	3	3
市外	J Aバンク	32	27	37	46	30	172
	郵便局	30	17	9	27	19	102
	コンビニATM	9	6	6	5	2	28
	市外回答者数	27	12	14	30	25	108
市外	八十二銀行（上田市内）	3	1	0	3	0	7
	八十二銀行（小諸市内）	0	1	0	2	0	3
	八十二銀行（佐久市内）	1	0	0	0	0	1
	八十二銀行（※）	9	2	5	9	9	34
	郵便局（上田市内）	1	0	0	0	0	1
	郵便局（小諸市内）	0	0	1	0	1	2
	郵便局（※）	1	1	1	1	4	8
	三井住友銀行上田支店	5	1	2	1	0	9
	上田信用金庫（上田市内）	1	0	1	0	0	2
	上田信用金庫（※）	2	0	0	5	0	7
	長野県労働金庫丸子支店	0	0	0	2	0	2
	長野県労働金庫（※）	0	0	0	5	0	5
	J A信州うえだ長瀬店	0	0	0	0	1	1
	J Aバンク（※）	2	0	1	0	2	5
	長野県信用組合（上田市内）	0	0	0	1	1	2
	長野県信用組合（※）	2	0	0	0	1	3
	長野銀行	0	2	0	0	0	2
	コンビニATM	0	1	1	0	3	5

※店舗不明

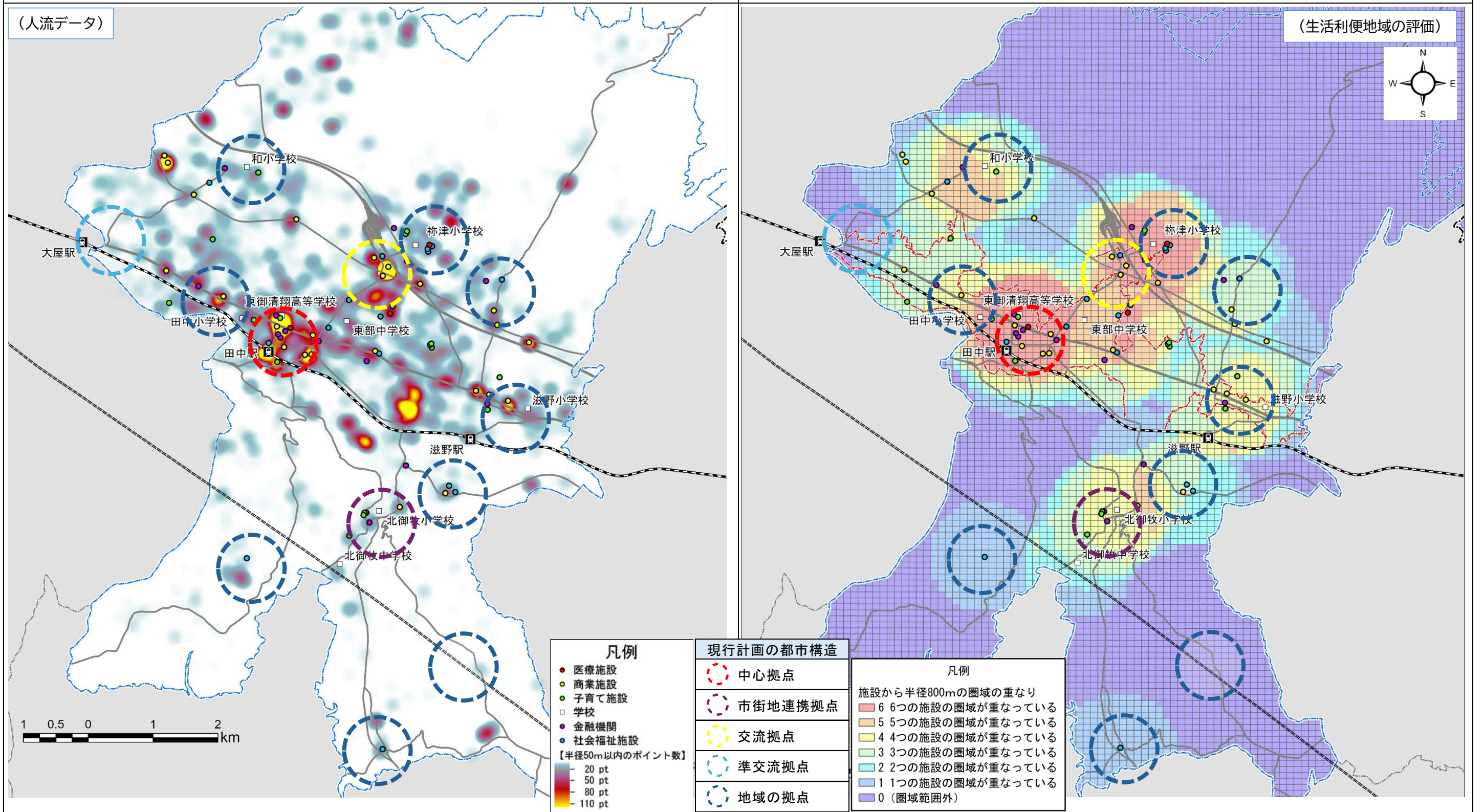
3. 人流データと生活利便地域の比較

■田中地区と祢津地区では、生活利便地域と人流密集度の高いエリアが重なっており、各施設の配置と人流が結びついているといえます。

■滋野地区では、田中地区や祢津地区と比較すると人流密集度はやや少ないが、生活利便地域と人流密集度が高いエリアが一致しています。

■和地区では、生活利便地域の中心が和小学校周辺であるが、人流の密集度が高い範囲はツルヤかのう店周辺に分布しており、生活利便地域と実態でややズレが生じています。

■北御牧地区では、生活利便地域に対して、買い物や医療などの利用実態は、他の地区や周辺市町への流動が多くなっており、地区内の生活利便の向上や他地区との連携強化が課題です。



※現行計画の都市構造：東御市都市計画マスタープランの将来都市構造（拠点）